

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 25 年 2 月 14 日 (2013.2.14)

【公開番号】特開 2012-1925 (P2012-1925A)
 【公開日】平成 24 年 1 月 5 日 (2012.1.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-001
 【出願番号】特願 2010-136108 (P2010-136108)
 【国際特許分類】

E 0 3 D 9/00 (2006.01)

A 4 7 K 17/02 (2006.01)

【 F I 】

E 0 3 D 9/00 F

A 4 7 K 17/02 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 12 月 19 日 (2012.12.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の詳細な説明】
 【発明の名称】洋式便器用尿飛散防止具
 【技術分野】
 【 0 0 0 1 】

本発明は、洋式便器に備え付けて使用される洋式便器用尿飛散防止具に関する。

【背景技術】

【 0 0 0 2 】

従来、洋式便器用尿飛散防止具としては、排尿力の弱い老人等が洋式便器周りを尿で汚すことなく清潔に立ち小便できる立ち小便用汚染防止具の提供を目的とし、図 1 1 に示すように、防止具の主体 (0 1) を水溶質材とし、該上部にペニス体に装着する縁付きの装着口 (0 2) を設け、主体 (0 1) の適部より絞って下端に排尿口 (0 3) を設け、該排尿通路を遅水溶固定材で強化した構造のものが開示されている (特許文献 1 参照) 。

この従来技術によれば、飛散する尿を排尿口 (0 3) で一本筋にまとめて放出し、排尿後における尿しずく振り飛ばしも不要となり、これにより、洋式便器周りの汚染を防止できるという効果がある。

【先行技術文献】

【特許文献】

【 0 0 0 3 】

【特許文献 1】特開 2 0 0 7 - 2 3 1 7 1 5 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 4 】

しかしながら、従来例の立ち小便用汚染防止具にあっては、排尿の度にこの小便用汚染防止具を使用するのは極めて面倒であり、また使用後は水洗で流す 1 回のみの使い捨て商品であるため、コストが高く付くという問題がある。

【 0 0 0 5 】

本発明の解決しようとする課題は、便座を開ける操作だけで尿飛散防止状態となって洋式便器周りの尿汚染を防止できる洋式便器用尿飛散防止具を提供することにある。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

上記課題を解決するため請求項1記載の発明は、便器本体の上部に後方へ跳ね上げ可能な便座を備えた洋式便器に取り付けて使用される洋式便器用尿飛散防止具であって、

前記便座を後方へ跳ね上げた状態で該便座と便器本体の左右両側面に形成される略扇状の開口部を、洋式便器の外側から閉塞可能な広さを有する左右一対の略扇状パネルを備え、

該両略扇状パネルは、その便座側の略直線部内面に沿って便座の円弧状左右両側面の基部側にそれぞれ着脱自在に取り付け可能な取付手段を備え、

前記略扇状パネルは、跳ね上げた便座を便器本体上に下ろしてセットする際に略扇状パネルにおける便器本体側の略直線部が便器本体におけるリム部の円弧状左右両側面にそれぞれ沿って回動下降可能な広さを有することを特徴とする手段とした。

【0007】

また、請求項2記載の発明は、請求項1に記載の洋式便器用尿飛散防止具において、前記両略扇状パネルの少なくとも内面側に吸水性シートを備えていることを特徴とする手段とした。

【0008】

また、請求項3記載の発明は、請求項1または2に記載の洋式便器用尿飛散防止具において、前記両略扇状パネルの便器本体側の略直線部内面側に吸水素材よりなるテープを有することを特徴とする手段とした。

【0009】

また、請求項4記載の発明は、請求項1～3のいずれか1項に記載の洋式便器用尿飛散防止具において、前記第1取付手段が両面テープであることを特徴とする手段とした。

【0010】

また、請求項5記載の発明は、請求項1～4のいずれか1項に記載の洋式便器用尿飛散防止具において、前記略扇状パネルとは別部材で、上縁部側を便器本体のリム部上面より所定長さ立ち上げさせた状態で下縁部側をリム部外周面に対して着脱自在に取り付け可能な第2取付手段を有し、跳ね上げた便座を便器本体上に下ろしてセットする際に両略扇状パネルの内面側にそれぞれ付着した尿のしずくを便器本体内部に剥ぎ落とす補助パネルを備えていることを特徴とする手段とした。

【0011】

また、請求項6記載の発明は、請求項5に記載の洋式便器用尿飛散防止具において、前記第1取付手段が両面テープであることを特徴とする手段とした。

【発明の効果】**【0012】**

請求項1記載の発明では、上述のように、便座を後方へ跳ね上げた状態で該便座と便器本体の左右両側面に形成される略扇状の開口部を、洋式便器の外側から閉塞可能な広さを有する左右一対の略扇状パネルを備え、該両略扇状パネルは、その便座側の略直線部内面に沿って便座の円弧状左右両側面の基部側にそれぞれ着脱自在に取り付け可能な取付手段を備え、略扇状パネルは、跳ね上げた便座を便器本体上に下ろしてセットする際に略扇状パネルにおける便器本体側の略直線部が便器本体におけるリム部の円弧状左右両側面にそれぞれ沿って回動下降可能な広さを有することを特徴とする手段としたため、便座を後方へ跳ね上げると、両略扇状パネルが便座と便器本体の左右両側面に形成される略扇状の開口部を洋式便器の外側から閉塞した状態になる。

これにより、小用のため便座を開ける操作だけで尿飛散防止状態となって洋式便器周りの尿汚染を防止できるようになるという効果が得られる。

【0013】

請求項2記載の発明では、上述のように、前記両略扇状パネルの少なくとも内面側に吸水性シートを備えることで、両略扇状パネルの内側に飛散付着した尿を吸水性シートが直ちに吸収するため、床面への落下を防止することができる。

【 0 0 1 4 】

請求項 3 記載の発明では、上述のように、両略扇状パネルの便器本体側の略直線部内面側に吸水素材よりなるテープを有することで、両略扇状パネルの内側に飛散付着した尿を下端部に位置するテープで受け止めて吸収するため、床面への落下を防止することができる。

【 0 0 1 5 】

請求項 4 記載の発明では、上述のように、第 1 取付手段を両面テープにすることで、両面テープから剥離紙を剥ぎ取ることで便座への取り付けが簡単に行えるようになる。

【 0 0 1 6 】

請求項 5 記載の発明では、上述のように、略扇状パネルとは別部材で、上縁部側を便器本体のリム部上面より所定長さ立ち上げさせた状態で下縁部側をリム部外周面に対して着脱自在に取り付け可能な第 2 取付手段を有し、跳ね上げた便座を便器本体上に下ろしてセットする際に両略扇状パネルの内面側にそれぞれ付着した尿のしずくを便器本体内側に剥ぎ落とす補助パネルを備えることで、便座を下ろす際に両略扇状パネルの内側に飛散付着した尿を補助パネルで便器本体内側に剥ぎ落とすことができ、これにより、床面への落下を防止することができる。

【 0 0 1 7 】

請求項 6 記載の発明では、上述のように、第 2 取付手段を両面テープにすることで、両面テープから剥離紙をはぎ取ることでリム部への取り付けが簡単に行えるようになると共に、洋式便器の種類に応じてリム部上面からの第 2 取付手段の上縁部側の立ち上げ高さを任意に設定できるようになる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 8 】

【 図 1 】 本発明実施例 1 の洋式便器用尿飛散防止具を示す展開図である。

【 図 2 】 図 2 の S 2 - S 2 線における拡大断面図である。

【 図 3 】 本発明実施例 1 の洋式便器用尿飛散防止具の使用状態を示す斜視図である。

【 図 4 】 本発明実施例 1 の洋式便器用尿飛散防止具の使用状態を示す側面図である。

【 図 5 】 本発明実施例 1 の洋式便器用尿飛散防止具の便座及び蓋体を下ろした状態を示す側面図である。

【 図 6 】 本発明実施例 2 の洋式便器用尿飛散防止具を示す展開図である。

【 図 7 】 本発明実施例 2 の洋式便器用尿飛散防止具の使用状態を示す側面図である。

【 図 8 】 本発明実施例 3 の洋式便器用尿飛散防止具を示す展開図である。

【 図 9 】 図 8 の S 9 - S 9 線における拡大断面図である。

【 図 1 0 】 本発明実施例 3 の洋式便器用尿飛散防止具の使用状態を示す斜視図である。

【 図 1 1 】 従来例を示す説明図である。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 1 9 】

以下にこの発明の実施例を図面に基づいて説明する。

【 実施例 1 】

【 0 0 2 0 】

まず、この実施例 1 の洋式便器用尿飛散防止具を図面に基づいて説明する。

この洋式便器用尿飛散防止具は、図 1 に示すように、左右一対の略扇状パネル 1、1 と、両面テープ 2 と、を備えている。なお、図 2 ~ 4 において、3 は洋式の便器本体、4 は便器本体 3 に対し後方へ跳ね上げ可能な便座、5 は便器本 3 及び便座 4 に対し後方へ跳ね上げ可能な蓋体である。

【 0 0 2 1 】

さらに詳述すると、上記略扇状パネル 1、1 は、図 2 に示すように、便座 4 を後方へ跳ね上げた状態で該便座 4 と便器本体 3 の左右両側面に形成される略扇状の開口部を、洋式便器の外側から閉塞可能な広さ、即ち、図 3 に示すように後方へ跳ね上げた便座 4 を、図 4 に示すように便器本体 3 上に下ろしてセットする際に略扇状パネル 1、1 における便器

本体 3 側の略直線部 1 b が便器本体 3 におけるリム部 3 1 の円弧状左右両側面にそれぞれ沿って回動下降可能な広さを有する略扇状に形成されたパネルである。

【 0 0 2 2 】

この略扇状パネル 1、1 は、図 2 の拡大断面図に示すように、外側面はある程度腰のある紙又は樹脂シート 1 1 で構成される一方、内側面は吸水性を有する紙シート（吸収性シート）1 2 で構成されている。

なお、この紙シート 1 2 を樹脂シート 1 1 に対し交換可能な構成、例えば、紙シート 1 2 の数箇所に樹脂シート 1 1 の内面側に粘着可能な両面テープを備えておくようにしてもよい。

【 0 0 2 3 】

また、上記両面テープ 2 は、略扇状パネル 1、1 を便座 4 の円弧状左右両側面にそれぞれ着脱自在に取り付けるための第 1 取付手段を構成するもので、図 4 に示すように、略扇状パネル 1、1 における便座 4 側の略直線部 1 a の内面に沿って粘着されている。

【 0 0 2 4 】

次に、この実施例 1 の作用・効果を説明する。

この実施例 1 の洋式便器用尿飛散防止具は上述のように構成されるため、図 5 に示すように、便座 4 を便器本体 3 上にセットした状態で、左右一対の略扇状パネル 1、1 の便座 4 側の略直線部 1 a に備えた両面テープ 2 から剥離紙 2 a を剥ぎ取り、両面テープ 2 を便座 4 の左右各両側面に沿って粘着させることにより、便座 4 に対する洋式便器用尿飛散防止具の取付を完了する。

【 0 0 2 5 】

そこで、小用の際には、便座 4 を後方へ跳ね上げると、図 3、4 に示すように、両略扇状パネル 1、1 が便座 4 と便器本体 3 の左右両側面に形成される略扇状の開口部を洋式便器の外側から閉塞した状態になる。

これにより、小用のため便座 4 を開ける操作だけで尿飛散防止状態となって洋式便器周りの尿汚染を防止できるようになるという効果が得られる。

【 0 0 2 6 】

また、図 2 に示すように、略扇状パネル 1、1 の内側面は吸水性を有する紙シート 1 2 で構成されていて、両略扇状パネル 1、1 の内側に飛散付着した尿を紙シート 1 2 が直ちに吸収するため、床面への落下を防止することができる。

また、略扇状パネル 1、1 の外側面はある程度腰のある紙又は樹脂シート 1 1 で構成されることで、紙シート 1 2 を補強し、型くずれを防止することができる。

【 0 0 2 7 】

また、略扇状パネル 1、1 を便座 4 の円弧状左右両側面にそれぞれ着脱自在に取り付けるための第 1 取付手段として両面テープ 2 を用いることで、両面テープ 2 から剥離紙 2 a を剥ぎ取る操作だけで便座への取り付けが簡単に行えるようになる。

【 0 0 2 8 】

なお、この紙シート 1 2 を樹脂シート 1 1 に対し交換可能な構成、例えば、紙シート 1 2 の数箇所に両面テープを備えておけば、この紙シート 1 2 のみを新しいものと交換することにより、略扇状パネル 1、1 の内面側を常に清潔に保つことができる。

【 0 0 2 9 】

次に、他の実施例について説明する。この他の実施例の説明にあたっては、前記実施例 1 と同様の構成部分については図示を省略し、もしくは同一の符号を付けてその説明を省略し、相違点についてのみ説明する。

【 実施例 2 】

【 0 0 3 0 】

この実施例 2 は、実施例 1 における洋式便器用尿飛散防止具の変形例を示すものであり、図 6、7 に示すように、両略扇状パネル 1、1 の便器本体 3 側の略直線部 1 b 内面側に紙等の吸水素材よりなるテープ 6 を有する点が、上記実施例 1 とは相違したものである。

【 0 0 3 1 】

従って、この実施例 2 では、実施例 1 と同様の効果が得られる他、両略扇状パネル 1、1 の内側に飛散付着した尿が下方へ垂れた場合でも、この尿をテープ 6 で受け止めて吸収するため、床面への落下を防止することができる。

この場合、実施例 1 における紙シート 12 を省略することも可能であるが、併用することが望ましい。

【実施例 3】

【0032】

この実施例 3 は、実施例 1 における洋式便器用尿飛散防止具の変形例を示すものであり、図 8 ~ 10 に示すように、略扇状パネル 1、1 とは別部材で、上縁部側を便器本体 3 のリム部 31 上面より所定長さ立ち上げさせた状態で下縁部側をリム部 31 外周面に対して着脱自在に取り付け可能な両面テープ（第 2 取付手段）8 を有し、跳ね上げた便座 4 を便器本体 3 上に下ろしてセットする際に両略扇状パネル 1、1 の内面側にそれぞれ付着した尿のしずくを便器本体 3 内側に剥ぎ落とす補助パネル 7 を備えている点が、上記実施例 1、2 とは相違したものである。

【0033】

この実施例 3 では、上述のように構成されるため、小用をすませた後、便座 4 を下ろす際に両略扇状パネル 1、1 の内側に飛散付着した尿を補助パネル 7 で便器本体 3 内側に剥ぎ落とすことができ、これにより、床面への落下を防止することができる。

この場合、実施例 1 における紙シート 12 及び又は実施例 2 におけるテープ 6 を省略することも可能であるが、併用することが望ましい。

【0034】

また、上縁部側を便器本体 3 のリム部 31 上面より所定長さ立ち上げさせた状態で下縁部側をリム部 31 外周面に対して着脱自在に取り付け可能な第 2 取付手段として両面テープ 8 を用いることで、両面テープ 8 から剥離紙 8a をはぎ取ることによりリム部への取り付けが簡単に行えるようになると共に、洋式便器 3 の種類に応じてリム部 31 上面からの補助パネル 7 の上縁部側の立ち上げ高さを任意に設定できるようになる。

また、水洗機能を備えた洋式便器の場合にあっては、便器本体 3 のリム部と便座 4 との間にできる隙間が補助パネル 7 で塞がれた状態になるため、水洗時の水はねが便器外に飛び散ることを阻止することができる。

【0035】

以上本実施例を説明してきたが、本発明は上述の実施例に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更等があっても、本発明に含まれる。

【0036】

例えば、実施例 1 では、両略扇状パネル 1、1 の外側面はある程度腰のある紙又は樹脂シート 11 で構成される一方、内側面は吸水性を有する紙シート（吸収性シート）12 で構成した例を示したが、素材は任意であり、紙のみ、又は樹脂シートのみで構成させてもよい。

【符号の説明】

【0037】

- 1 略扇状パネル
- 1a 便座側の略直線部
- 1b 便器本体側の略直線部
- 11 樹脂シート
- 12 紙シート（吸水性シート）
- 2 両面テープ（第 1 取付手段）
- 2a 剥離紙
- 3 便器本体
- 31 リム部
- 4 便座
- 5 蓋体

- 6 吸水素材よりなるテープ
- 7 補助パネル
- 8 両面テープ（第2取付手段）
- 8 a 剥離紙